



2021年10月15日

各位

会社名 株式会社イワキ
 代表者名 代表取締役社長 藤中 茂
 (コード番号: 6237 東証第一部)
 問合せ先 執行役員経営管理本部長 井上 誠
 (TEL 代表 03-3254-2931)

特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第2四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2021年5月13日に公表しました2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想並びに配当予想を、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

以下のとおり、和解金の支払を決定したため、これに伴って生じる特別損失を2022年3月期第2四半期連結会計期間に計上するものであります。

2017年1月、当社従業員の労災死亡事故発生に伴い、当社は当該従業員ご遺族から東京地方裁判所に損害賠償請求の申立てを受け、当該手続の中で解決に向けた協議を重ねてまいりました。その中で、裁判所より和解案の提示を受け、当該和解案を前提とする解決について検討の結果、2021年9月16日、ご遺族に対し和解金として55,000千円を支払うことを内容とする和解が成立するに至りました。

なお、当該事故及び和解内容詳細につきましては、ご遺族への配慮もあり、公表を差し控えていただきます。

2. 業績予想の修正

(1) 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,824	712	965	815	37.26
今回修正予想 (B)	15,580	1,058	1,525	1,191	54.36
増減額 (B-A)	756	346	560	375	
増減率 (%)	5.1	48.7	58.1	46.1	
ご参考: 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	13,159	711	935	1,068	48.50

(2) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,297	1,752	2,243	1,831	83.78
今回修正予想 (B)	31,459	1,836	2,634	2,072	94.60
増減額 (B-A)	1,162	83	391	241	
増減率 (%)	3.8	4.8	17.5	13.2	
ご参考：前期実績 (2021年3月期)	28,162	1,706	2,222	2,091	94.90

(3) 業績予想の修正理由

第2四半期累計期間の連結業績は半導体・液晶市場を中心に受注活況な状況が継続しております。製品別では、空気駆動ポンプをはじめ、汎用性の高いマグネットポンプも好調に推移した結果、売上高は当初予想を上回る見込みであります。利益面では増収効果に加えて、持分法による投資利益も想定を上回る見込みであり、その結果、各段階利益も予想を大幅に上回る見通しとなりました。

なお、前述の1. 特別損失を反映しております。

通期連結業績予想については、足元では好調な受注状況にあるものの、昨今の部品調達難や樹脂原料の調達難の影響により、下期は上期より売上ペースが鈍化する見込みであります。また海上コンテナ需給逼迫による出荷遅れも予想されますが、売上高は当初予想を上回る見込みであります。

費用面について、生産関連の物流コスト増や生産体制再構築に係る修繕費用、輸送コスト増や部品調達難によるコスト増などを見込んでおります。その結果、営業利益においては当初予想を若干上回る見込みであります。なお、持分法による投資利益は引き続き高水準を維持する見込みであります。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を上回る見込みであります。

3. 配当予想の修正

(1) 2022年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	10円00銭	15円50銭	25円50銭
今回修正予想	12円00銭	16円50銭	28円50銭
当期実績	—	—	—
前期実績 (2021年3月期)	8円00銭	21円00銭	29円00銭

(2) 配当予想の修正理由

当社は将来の成長のための投資に必要な内部留保の確保や、キャッシュ・フローの状況などを勘案しつつ、経営成績に応じ、連結配当性向30%超を目安に、安定的な配当を実施することを基本方針としております。

2022年3月期の中間・期末配当金につきましては、この度の業績予想の修正を踏まえ、直近の配当予想から修正（増配）いたします。これにより、年間配当金は3円00銭増配の1株あたり28円50銭とし、中間配当は12円00銭、期末配当は16円50銭となる予定です。

(注) 予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上